

様式5 年度シートその2

所属	重点-1
----	------

		1 データ活用による収量・品質の向上	評価指標	現状	目標	1 データ活用による収量・品質の向上	評価指標	現状	目標
		(1) I o Pクラウド「SAWACHI」稼働に向けた実証 対象：ナス部会員（I o Pプロジェクト協力農家32戸＋実証農家1戸）	I o Pプロジェクト協力農家の意見、評価	—	協力農家意見のとりまとめ農家数33戸	(2) データ駆動型農業の実践支援 ①環境制御技術指導 対象：ナス部会員（炭酸ガス施用機器導入農家のうち改善志向農家） ※毎年20戸選定	目標収量達成者の戸数（12月末実績） ※目標は農家ごとに設定	12戸/20戸	20戸
普及事項									
担当		○谷岡、各地区担当				○谷岡、各地区担当			
時期		計画				計画			
第1 四半期	4 月	【1 (1)】 ・協力農家の共有および聞き取り内容の検討（チーム会 4～5月） ・協力農家との聞き取り内容の共有（個別巡回等 5月） ・I o P実証内容の検討および実証農家の選定（チーム会 4～5月 実証農家1戸） ・協力農家への実証効果の確認（聞き取り等 6月）				【1 (2)①】 ・次園芸年度指導農家候補の選定（チーム会 5月） ・前年度改善志向農家への栽培結果の聞き取り調査（個別巡回等 6月） ・関係機関との取組結果等の情報共有（JA連絡会等 5～6月）			
	5 月								
	6 月								
	7 月								
第2 四半期	8 月	【1 (1)】 ・協力農家への実証効果の確認（聞き取り等 7月） ・協力農家聞き取り結果の取りまとめ（7月） ・実証結果の検討（チーム会 8月）				【1 (2)①】 ・前年度改善志向農家への結果報告（個別巡回等 7～8月） ・本年度対象農家の選定、農家リスト作成（チーム会 7～8月） ・本年度選定農家と目標収量設定、改善項目等の共有（個別巡回 8～9月） ・選定農家の取組内容等の情報共有（JA連絡会等 8月）			
	9 月								
	10 月								
	11 月								
第3 四半期	12 月	【1 (1)】 ・協力農家への実証効果の確認（聞き取り等 11月） ・データ分析用ツールを活用した実証農家等のデータ分析（BIツール等 12月）				【1 (2)①】 ・農家への栽培指導、目標達成に向けた進捗確認（個別巡回等 10～12月） ・環境データに基づく栽培指導（個別巡回等 10～12月） ・指導状況の進捗確認と情報共有（チーム会、JA連絡会等 11月）			
	1 月								
	2 月								
	3 月								
第4 四半期	4 月	【1 (1)】 ・協力農家及び実証農家への実証効果の確認（聞き取り等 1月） ・協力農家の意見等取りまとめ（3月） ・データ分析用ツールを活用した実証農家等のデータ分析（BIツール等 1～3月） ・実証効果の検討（チーム会 2月）				【1 (2)①】 ・農家への栽培指導（個別巡回等 1～3月） ・環境データに基づく栽培指導（個別巡回等 1～3月） ・対象農家の年内実績の把握（1月） ・目標達成状況の情報共有（チーム会、JA連絡会等 1～2月）			
	5 月								
	6 月								
	7 月								